



ローカルの魅力満載

てくてくわがまちさんぽ

Vol.11
伊平屋村

沖縄最北端の島ウォーク 約13.0km

美しい最北の島で
太古の痕跡に触れる

沖縄県の最北端にあり、細長い形をした伊平屋島。200mを越える山々や広々とした田畑など、他の島にはない魅力を持っています。数千年前から人が住んでいたといわれる島は、太古の日本神話とも関わりが深く、古代の城郭の跡や古事記に記された洞窟などが今も残っています。また、琉球王国を成立させた尚巴志王の祖先の出身地でもあることから、多くの神事や伝統行事が継承されています。伝説の場所を訪ね歩きながら、歴史ロマンに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



久葉山の頂上に立つ伊平屋灯台は、水面から約103mの高さ。美しい海が一望できる伊平屋島でもっとも見晴らしのいい場所。



沖合に浮かぶ奇岩「ヤヘー岩」は、干潮時には歩いて渡ることができる。太古築城の跡があり、釣りやダイビングの人気スポット。



「クマヤ」とは「籠もる」という意味。クマヤ洞窟は、天照大神が隠れたという「天の岩戸伝説」の最南端の地ともいわれている。



久葉山(くばやま)の裏側にある潮下浜(すーがはま)。波が穏やかで透明度が高いビーチは、島の人気デートスポットだったそう。



東西約28m、南北約24mという巨大な枝振りが美しい念頭平松(ねんとうひらまつ)。国指定の天然記念物は、島のシンボル。



沖縄ではクバと呼ばれるヤシ科の常緑高木ビロウが生い茂る久葉山。クバは神様が地上に降りる時の目印の木と伝えられている。

Check

コースMAPは
こちら



今月の運動量

※歩行時間や消費カロリーは個人差があります

歩行距離 約13.0km

歩行時間 約3時間

消費カロリー

約540kcal



塩おにぎり 3個分

※1個あたり125gで計算

広告



貸与奨学生(高校・大学等)

令和7年度募集要項はこちらから▶▶▶

